

開催日:平成30年6月14日(木)

場所:生野区役所6階 大会議室

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
室谷委員	【西部地域学校再編整備計画について】 ・教育こども委員会で「最終合意がないまま学校の統廃合の事例がなく、設計予算については保護者、地域の合意がなければ元に戻ることは認識しており、今後、最終合意を前提として協議を進めていく。」としているが、これに対してどう受け止めているか。 ・準備会が足並みがそろっていないところでどんどん進められているが、一旦立ち止まって考えてみるということが今の状況の中では大事なのではないか。 ・地域からの陳情書や集会の後など様々な形で一旦立ち止まってほしいという声が上がっているが、今の状況で本当に合意がなされていると考えているのか。	・実施設計予算は、工事をするためではなく、あくまで設計をするための予算として計上しています。実際に合意をいただかなければ工事は進んでいかないと認識しておりますので、皆さんの意見を無視して進めているということではないのでご理解いただきたいと思います。 ・この間ご理解をいただきながら設置している準備会については、ご意見をいただく場ですので、引き続き進めていきたいと考えています。その後、学校整備計画の案をつくった上でまた説明をさせていただき、合意をさせていただくという形になるかと考えています。 ・現在はまだ学校設置協議会の準備会と言う段階で、ご意見をいただいているところですので、賛成、反対という形の合意を得た段階ではないと考えております。
猪股委員	【西部地域学校再編整備計画について】 当初、地域、PTA、保護者の方の意見がないまま4校存続、8校廃校・閉校の考えが出され、これは何年経っても変わっていない。しかし、避難所や通学路の問題、色々話し合われているが肝心要のところは触れてはいけなような準備会となっており、これは意味があるのかと前から思っている。 また、昨年11月24日に、この整備計画案を進めてもらいたいという陳情書は12月の議会ですぐ採決されたが、3月5日のもう一度立ち止まって話し合いたいという陳情書は今まだ継続審議の状況で、これは看過できない。 再考してもらえよう検討してもらいたい。	—
新井委員	【西部地域学校再編整備計画について】 将来的なことも本当に大切だが、学校現場では卒業遠足などに1校ではバスがチャーターできずに2校が合同で行く現状がある。今通っているこどもたちの事を考えると、ずるずる議論が続いていくことが本当に良いことだとは思わない。皆それぞれに思いはあると思うが、本当にこどもたちのことを考えていろいろ意見してもらいたいと思う。	—

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
栗信委員	【西部地域学校再編整備計画について】 中学校へ行った際、人数が少なくて部活動を他の学校と合同でしていると聞いた。人数が少なくてやりたいことがやれないということは、その子たちの育成、目標が無くなってしまうことになる。それは大変なことだと実感した。 地域で皆さんが言っていることは賛成も反対もしないが、本当にこどもたちに聞いているのか。こどもたちの意見を尊重して、それをもとに進めてもらいたいと思う。	—
室谷委員	【西部地域学校再編整備計画について】 林寺地域で通学経路を回り、様々な危険箇所があることがわかった。通学が遠距離になると交通事故の危険性が高まる問題がある。	—
亀田委員	【西部地域学校再編整備計画について】 学校再編と跡地活用は別々に委員会を立ち上げて話し合った方が話が早いのではないかと思います。	現在、ご提案いただいた内容で進めていこうと考えております。 跡地についてはある程度準備会の中でもご意見をいただきますが、実際にそうなる場合は跡地活用の委員会は別にしっかり立ち上げますし、現在色々調査業務を行っております。
亀田委員	【西部地域学校再編整備計画について】 学校の再編でこどもたちの通学距離が遠くなる等の意見をよく聞くが、安全面をきっちりすれば、通学距離等は慣れもあるし、体力づくりにもなるのではないかと。	—
森口委員	まちづくりについて、区役所として生野区全体に対するまちづくりのイメージはあると思うが、例えば、正直、北鶴橋と巽東は状況が違う。そのあたりはどう思っているのか。	確かにエリアごとに特徴がありますので、小さなエリアでまちづくりを考えていき、また皆さんにも知恵を出してもらいながら進めていけたらと思っています。
亀田委員	「密集住宅市街地整備のための補助制度のご案内」ですが、新しい30年度版ができた場合、回覧板等で周知する予定はあるのか。	補助制度の詳しい内容はあまり知られていないと思うので、何らかの形で周知させていただきたいと思います。

平成30年度生野区区政会議(第2回全体会)
いただいた主なご意見・ご提言(要約)と区の考え方、対応

開催日:平成30年11月29日(木)

場所:生野区役所6階 大会議室

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
山本委員	地下鉄今里筋線の延伸について、今後どのようになっていくのか。	BRTを社会実験で走らせ、どれだけの需要があるのか、実際に乗る方がどれだけ増えるのかを5年かけて検証し、今後の展開をどうしていくのか考えていきます。 なお、詳しい説明が必要でしたら、都市交通局の方に確認させていただきます。
亀田委員	学校にカセットボンベで発電できる発電機がある。普通の発電機より簡単に動くので地域で試していただければと思う。	—
室谷委員	生野区西部地域学校再編整備計画案に関して、合意がないまま進むという形になっているので、一旦立ち止まって考えてほしい。	生野区西部地域学校再編整備計画はこどもたちの教育環境の改善とすることを目的に進めております。 学校設置協議会準備会では、まずは意見交換をする場ということで地域・PTAの方からご理解をいただき、委員に出ていただいた上でいろんな意見をいただいているところです。 しっかりとご理解をいただきながら進めてまいりたいと考えております。
栗信委員	聴覚障がい者の方と接した際に、区役所に手話通訳者がいないと聞きました。「なんでも相談いらっしゃ〜い」のチラシには通訳がいるとなっているが、本当にいるのか。	「なんでも相談いらっしゃ〜い」の相談員の中には、手話通訳ができる方も何人かおられると聞いていますが、常時おられるかはわかりかねますので、詳しくは先方にお問合せください。

平成30年度生野区区政会議(第3回全体会)
いただいた主なご意見等(要約)と区の考え方、対応

開催日:平成31年2月13日(水)

場所:生野区役所6階 大会議室

発言者	ご意見等(要約)	区の考え方、対応(要約)
杉浦委員	避難所開設の周知方法について、連絡網を設けるか、班長に伝えるか、マイクで知らせるかなど、町会等で予め決めておいた方が良いと思う。	—
清水委員 服部委員 山本委員 亀田委員 川上委員 田中委員	・学校跡地の活用について、「みんなの学校」という考え方は、生野区に來られた外国人の方々や子育て中の方々、こどもたちなどが、学びをきっかけに集まることができ、また集客方法など、区民の方々がアイデアを出し合うことによってもつながりが生まれ、非常に良い、期待できる取組みであると思う。 ・学校跡地の活用方法として、外国から來た方々やそのこどもたちに日本語を教える場所を提供してほしい。 ・学校跡地は地域に近く、参加しやすいので、乳幼児対象のイベントやマタニティ教室等もそこで行ってほしい。 ・北翼の「生野区子ども・子育てプラザ」では、外国人の親子も交じって交流しており、それが日本語学習にもつながっているので、そういった施設を紹介して行ってほしいし、参加してもらいたい。 ・「松野農園」のように、外国人の方と一緒に何かをする機会を増やすことはとても大事であると思う。	—
服部委員 山本委員	・こどもが3人いる家庭で、2人は別々の保育園へ行き、1人は入れないという話を聞いている。保育所で待機児童がなくなると聞いているが、本当なのか。 ・待機児童がいきなりゼロになることはないが、様々なことを積み重ねて初めて実現するものなので、頑張ってもらいたい。	待機児童に関しては、いろんなケースがあるため、個別でのご相談やお問い合わせをいただければと思います。
川端(麗)委員	・外国籍の方の声をこういった場で聞いて議論できればいいかと思う。 ・生野区は多文化都市としては全国的に注目されていると思うが、取り組み等については全国レベルの中であまり聞こえてこないもので、少し残念に思う。外国の方が急増してから何かを考えるのではなく、先んじて考えることが重要だと思う。	—

発言者	ご意見等(要約)	区の考え方、対応(要約)
猪股委員	・生野区西部地域学校再編整備計画について、1万1,000筆の署名を提出した。こどもの数の激減はわかるが、良い再編をするためにも、一度立ち止まって話し合いの場をつくり、私たちの意見を含め、多様な意見を聞いてもらいたい。 ・また、学校設置準備会では公平な運営をお願いしたい。	生野中学校区については、34年4月に向け、賛成の意見がある中で、学校設置協議会を設置して進めています。 また、他の地域の学校再編につきましても、特に関係する小学校低学年や未就学の保護者の方に対し、直接しっかりとお伝えできるような場を設けながら、地域ともしっかりと話を進めていきたいと考えています。
室谷委員	生野区西部地域学校再編整備計画案について、当初の中身と異なる形で進められているのは非常に問題である。統廃合ありきの形でどんどん違った形で進めるのではなく、一旦立ち止まってまちづくりを考えるべきだと思う。	—
栗信委員	桃谷中学校開校により、これまで鶴橋中学校で悩み相談を受けていた「元気アップ」の方々はどうなるのか。また、保健室には悩みを聞いてくれる先生が何名くらい配置されるのか。	「元気アップ」の中身について、こういった形になるのか現時点では決まっていますが、今後学校と調整し、検討していきたいと考えています。 こどもたちの悩み相談を受け入れる場としては、現在鶴橋中学校、勝山中学校でそれぞれ週1日、スクールカウンセラーの配置がありますが、桃谷中学校開校後は、現時点では週5日配置する形で予算を要求しています。また、両中学校に現在配置されているスクールカウンセラーの方々に、最低一日は来てもらえる形をお願いをしているところであり、こどもたちが相談しやすい状況になるようにと考えています。
山本委員	事前質問(参考資料3の8番)について、区役所など公共施設の案内表示や情報発信が外国人に対しても配慮されていてわかりやすいかどうかは、区民全般よりも実際に住んでいる外国人に聞くべきではないか、という内容で提出したが、区役所からの回答が区民全般に聞く趣旨のままであり、回答になっていないと思う。	区民アンケートという性質上、無作為抽出させていただいた区民の皆さんへ、たくさんの質問に回答いただいて統計を取らせていただいていますので、区役所による情報発信が外国人に対しても配慮されていると、そう感じられた区民の方がどれだけいらっしゃるかということ、まずアンケートで質問していきたいと思います。 一方で、本質についてはおっしゃるとおりで、外国人の当事者の方のご意見が一番大事であると思います。ご意見を頂く場としては、多文化カフェやイベント、フォーラム等があり、区内の行政機関とも連携しながら進めていけたらと考えています。
山本委員	桃谷中学校開校にともなう校長先生、教頭先生について、現在の勝山中学校、鶴橋中学校の校長・教頭からそれぞれどちらか1名ずつ配置するように配慮してほしい。	教職員の人事の件になるため、必ずしもその通りになるかどうかはお答えできませんが、再編による新しい学校ができることは大きな要素であると思いますので、いただいたご意見について、教育委員会に対してしっかりと伝えていきたいと考えています。

発言者	ご意見等(要約)	区の考え方、対応(要約)
山本委員	事前質問(参考資料3の9番)について、自分が提出した内容から一部削除されているが、それはなぜか。また、削除するにしても、事前に本人に連絡すべきであると思う。	削除させていただいた箇所については、内容が正しいかどうかの判断が難しかったことから、資料としては削除させていただき、口頭でご説明するように考えていたところです。ただ、削除するにあたっては、時間があれば事前にその旨をお伝えする必要があったことから、今後はそのように取り扱っていきたいと思います。
森口委員 辻浦委員	・ごみの問題について、民泊に伴って、ごみのマナーが非常に悪く、曜日や収集に関係のないごみが細い路地に放置され、近隣の家々からの苦情も発生して困っている。皆様の地域ではどのようなになっているか。 ・路地のごみについては、話し合いにより、路地から離れた自分の家の前に置かせてもらうようにしている。不法ごみについては、環境局に連絡して回収してもらったり、捨て方がわからない世帯には、ごみの曜日一覧表を持っていき、指導したりしている。	—
森口委員	・区の公式ではないと思われる、生野に関するソーシャルネットワークが勝手連的に発信されているのをたくさん見かけるが、責任の所在がわからず、その管理や線引きをどうするのか。 ・ソーシャルネットワークの立ち上げ方について、多文化共生の内容に片寄ったり、良い内容ばかりを発信するのではなく、ごみの放置といったまちの課題を取り上げる等、もう少し幅広い視野を持って発信していったほしい。	区が関与し、官民連携で発信しているのは「生野区なんでも掲示板」だけとなっています。この掲示板については、目的が生野区のまちの魅力発信なので、まちの課題といった情報は載せていませんが、ご意見を受けまして、まちの課題を発信し合えるような場についても、官民連携のチーム内で検討していきたいと思います。
高岡委員 服部委員	・学校設置協議会等の日程の案内が届いていないのか、どのように出席したらよいのかわからない。 ・案内は届いているはずなので、賛成も反対もみんなに参加して話し合うべき。	—
新井副議長	学校再編により9つの学校がなくなることについては、こどもたちがより良い公教育を受けられるように、未来のこどもたちのために動いているように思う。	—
新井副議長	自転車マナーの問題について、サイズの合わない自転車に乗っていたり、朝にスピードを出しすぎたり、マナーが非常に悪いので、皆様が本当に気を付けてわが身を守っていただきたい。	—
新井副議長	防災については、ご近所で人と人との顔を見合わせ、どこに誰が住んでいるかわからない地域にしないことが一番良いことだと思う。	—

発言者	ご意見等(要約)	区の考え方、対応(要約)
新井副議長	・生野区でヘイトスピーチに怯えている方がいる。児童虐待もそうだが、お年寄りや立場の弱い方々が心を痛めている。生野区に暮らす方々が気持ちよく生きていけるよう、皆でヘイトスピーチを許さないようにスクラムを組んでいってほしい。 ・本当に生きていく力を養いながら、人に優しい生野区になるために、これからも考えていきたい。	—